



よらじそ

しらゆりキッチンへ

子ども食堂とは、子どもやその親に対し、安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するための日本における社会活動です。食事の提供だけでなく、家庭や学校に次ぐ新しい交流拠点として、社会的に注目を集めています。

最近では、マスメディアに多く取り上げられたことをきっかけに、全国的に活動が活発となり、食育の場、孤食の解決、子ども同士や大人たちとの繋がり、地域コミュニティ連携の有効な手段など、この活動がもたらす広がりには多岐に渡ります。

子ども食堂の多くは、ボランティアの方々により運営されています。地域により活動内容も様々で、たくさん工夫を凝らした運営がされています。

今回は、母子福祉連合会が運営している湯浅町の子ども食堂「しらゆりキッチン」の活動をご紹介します。

しらゆりキッチン開催日

5月23日(日) カレー
 6月27日(日) からあげ
 7月25日(日) 煮込みハンバーグ

時間 11:00~14:00
 場所 地域福祉センター 2階



子ども 100円 おとな 300円

—特集— ようこそ しらゆりキッチンへ

あったかごはん
 ほっこり笑顔

～子どもたちの笑顔あふれる居場所を目指して～



湯浅町で子ども食堂「しらゆりキッチン」を運営されている母子福祉連合会にお話を伺いました。

母子福祉連合会
 杉谷 和子さん



しらゆりキッチンが
 出来るまでを教えてください

ひとり親の交流や支援を目的に活動している母子福祉連合会では、ひとり親の家族へ何か支援できることがないかを模索していました。
 その中で、令和元年度から子ども食堂の活動を開始しました。
 子ども食堂を始めるにあたり、まず湯浅小学校の保護者

を対象にアンケートを行いました。そのアンケートで得た意見を参考に、役員で何度も会議を重ねました。令和2年6月21日に当会の会員限定でプレオープンを行い、令和2年7月26日からは本格的に開催することができました。開始当時からこれまでに多くの参加をいただいています。



名前の由来は？

みなさんに覚えてもらいやすいシンプルな名前です。母子福祉連合会の象徴の花であるしらゆりから名前をとって「しらゆりキッチン」と名付けました。



どのようなメニューがありますか？

子どもたちが大好きなハンバーグや唐揚げ、カレーをメインに、各季節のイベント事を大事にしながラスピーを決めています。



受付の際に、検温とアルコール消毒を実施しています。各テーブルにもアルコール消毒液を設置し、定期的な消毒と食事中以外はマスク着用をお願いしています。また、テーブルごとの間隔をあけて換気を行うなど、徹底的に感染症対策を行っています。
 それでも感染拡大のリスクが高いと判断した時は、テイクアウトで食事を提供することになっています。

毎月第4日曜日の11時～14時に開催しており、70～80名の方に参加をいただいています。
 食後は、広いホールで子どもたちが楽しく遊んだり、保護者の皆さんの交流の場にもなっています。

次も参加したいと思ってもらえるよう、おいしい料理だけでなく、食後に子どもたちが、みんなで楽しく遊べるように遊び道具を置いたり、イベントをしたりと工夫しています。みんなが交流できる居場所づくりを目指して、気軽に利用しやすい雰囲気づくりを心掛けています。
 また昨年は、季節に応じたイベントを行い、ハロウィンにはお菓子を配りました。みんなに楽しんでもらえるように、これからもいろいろな企画していきたいです。

湯浅町でも少子化、核家族化により子どもたちを取り巻く課題が増えるなか、「しらゆりキッチン」での交流を通じて支え合いの気持ちに参加者の皆さんに芽生えてもらえると大変嬉しく思います。
 今後も役場や社会福祉協議会、学校等と連携して、子どもたちが抱える様々な課題解決を目指し、輝く笑顔で溢れる湯浅町のお役に立てればと思います。活動を続けていきます。

誰でも参加
 できますか？

町内の小学校に通う子どもたちときょうだい、保護者も対象です。子ども同士はもちろん、親子での参加もお待ちしています。

